

▽設立	2005年9月
▽社長	西健一郎社長
▽人員	3人
▽主な運用戦略	マルチストラテジー戦略
▽主な顧客	ファンズ・オブ・ヘッジファンド
▽運用資産	140億円
▽本社	東京都港区赤坂1-12-32アーク森ビル12階
▽電話	03-4360-8330

「株式、債券、金融派生商品（デリバティブ）を組み合わせた運用で、マーケットの変化に挑戦したい」——。ガイア・キャピタル・マネジメントはマルチストラテジー戦略を採るヘッジファンドだ。ガイアの設立は2005年9月。ゴールドマン・サックス証券出身の西健一郎社長（34、写真右）が立ち上げた若いファンドだ。6年間在籍したゴールドマンでは新株予約権付社債（転換社債＝CB）のトレーダーとして活躍。2000億円程度の運用をまかされていたという。当時から「独立して自分のファンドを始めよう」と考えていた西社長は03年、米国コネティカット州に本拠のあるヘッジファンドに転身。運用スキルの向上に踏み



出す。

次の転機は05年に訪れた。住友商事がヘッジファンド育成事業に乗り出すという新聞記事を目にした西社長はすぐに連絡をとり、温めていた独自ファンド設立に動き始める。住友商事の社内審査を経て30億円のシードマネーを手にしたのが05年夏。それから2年弱で運用資産 140億円に増やした。

日本株を運用対象にする国内独立系ヘッジファンドの多くがロング・ショート戦略を採る中で、西社長がマルチストラテジーを志向するのは「単一の運用戦略ではマーケットの変化に追いつけないリスクがある」ためだという。

運用戦略の柱は4本。ロング・ショートやイベントドリブンなど市場環境に応じて戦略を使い分け、機動的に資産の配分を組み替えるようにしている。

「運用資産が 500億円を超えたら手がけたい」（西社長）という目標が金利のアービトラージ（裁定取引）。「変化」を好むトレーダー集団の視線は次の収益機会を貪欲（どんよく）に狙っている。

（塚本奈津美）